



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日

上場会社名 株式会社ミダック 上場取引所 東 名
 コード番号 6564 URL http://www.midac.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 恵子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 廣明 TEL 053-488-7173
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,424	△0.6	591	△7.9	563	△12.9	287	△14.6
2019年3月期第2四半期	2,440	24.6	642	80.7	646	91.4	336	83.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 287百万円 (△14.6%) 2019年3月期第2四半期 336百万円 (83.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	30.39	—
2019年3月期第2四半期	33.73	—

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していませんので記載していません。
 2. 当社は、2019年9月14日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期（当期）純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,994	2,613	29.1
2019年3月期	9,164	2,252	24.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,613百万円 2019年3月期 2,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 当社は、2019年9月14日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2020年3月期の配当予想における1株当たり配当金5円00銭につきましては当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2020年3月期の配当予想における1株当たりの年間配当金は15円00銭となります。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,084	8.7	1,412	28.6	1,346	23.5	719	26.9	75.87

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
連結業績予想につきましては、2019年11月13日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおりであります。
2. 当社は、2019年9月14日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	9,972,900株	2019年3月期	9,972,900株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	447,450株	2019年3月期	555,450株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	9,450,499株	2019年3月期2Q	9,967,648株

(注) 当社は、2019年9月14日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得環境であったものの、消費税の増税による消費減速懸念や米中貿易摩擦をめぐる不確実性など、依然として予断を許さない状況にあります。

このような状況におきまして、当社グループは、引き続き収集運搬から最終処分までの廃棄物一貫処理体制を基盤とし、さらなる受託量の拡大及び収益性の向上を目指してまいりました。水処理施設や焼却施設等の中間処理施設におきましては、販路拡大に向けた営業活動を推進し稼働率の向上を図りました。最終処分場におきましては、施設の収益性を最大限高めるべく、単価の高い廃棄物の受注に注力するとともに、搬入量が計画値から大きく乖離することがないよう搬入を進めてまいりました。

また、新規管理型最終処分場である奥山の杜クリーンセンターにおきましては、2022年4月以降の稼働に向けて工事の進捗管理を細かに実施しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,424百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は591百万円（同7.9%減）、経常利益は563百万円（同12.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は287百万円（同14.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 廃棄物処分事業

当社におきましては、積極的な営業活動により、焼却処理、水処理が好調に推移しました。また、連結子会社である株式会社ミダックはまなにおきましては、前第1四半期連結累計期間に大型工事案件の受注があったことにより搬入量は一時的に増加しました。一方、当第2四半期連結累計期間の最終処分場への搬入は年間の搬入計画に基づき進めているため、前年同期と比較し減少しております。以上の結果、売上高は2,004百万円（同1.1%減）となり、セグメント利益は794百万円（同2.7%減）となりました。

② 収集運搬事業

一部の工事案件について、協力会社へ運搬を委託したことにより受託量は減少する要因となりましたが、既存顧客からの受注は安定的に推移し、売上高は概ね前年同期水準での着地となりました。また、新規車両の取得により減価償却費が増加しました。以上の結果、売上高は345百万円（同1.5%減）となり、セグメント利益は39百万円（同27.4%減）となりました。

③ 仲介管理事業

一部の工事案件について、協力会社である収集運搬業者への仲介が好調に推移したほか、既存取引先からの廃棄物の仲介が好調に推移しました。以上の結果、売上高は74百万円（同20.3%増）となり、セグメント利益は61百万円（同61.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,521百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円減少しました。これは主に、現金預金の減少額103百万円等によるものであります。

また、固定資産は6,472百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少しました。これは主に、投資その他の資産のその他が98百万円増加した一方で、のれんが125百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、8,994百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,521百万円となり、前連結会計年度末に比べ234百万円減少しました。これは主に、1年以内返済予定の長期借入金の減少額53百万円、流動負債のその他の減少額210百万円等によるものであります。

また、固定負債は2,859百万円となり、前連結会計年度末に比べ295百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少額273百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、6,380百万円となり、前連結会計年度末に比べ530百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,613百万円となり、前連結会計年度末に比べ360百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益287百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額240百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月13日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,801,430	1,697,910
受取手形及び売掛金	519,916	505,657
たな卸資産	53,587	49,200
その他	297,482	269,209
貸倒引当金	△837	△717
流動資産合計	2,671,579	2,521,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	530,838	513,101
機械装置及び運搬具（純額）	498,438	579,054
最終処分場（純額）	742,666	709,037
土地	1,293,722	1,293,722
建設仮勘定	1,085,737	1,092,541
その他（純額）	42,899	39,469
有形固定資産合計	4,194,302	4,226,926
無形固定資産		
のれん	1,648,657	1,523,444
施設設置権	280,700	260,650
その他	48,754	42,757
無形固定資産合計	1,978,111	1,826,851
投資その他の資産		
その他	325,191	423,447
貸倒引当金	△5,057	△4,457
投資その他の資産合計	320,134	418,989
固定資産合計	6,492,548	6,472,767
資産合計	9,164,127	8,994,028

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	50,320	43,417
短期借入金	2,083,500	2,183,500
1年内償還予定の社債	48,000	48,000
1年内返済予定の長期借入金	639,295	586,048
未払法人税等	267,646	199,848
賞与引当金	61,798	65,789
その他	605,629	395,109
流動負債合計	3,756,190	3,521,713
固定負債		
社債	122,000	98,000
長期借入金	2,336,924	2,063,452
最終処分場維持管理引当金	529,539	544,543
資産除去債務	104,090	105,204
その他	62,604	48,007
固定負債合計	3,155,158	2,859,207
負債合計	6,911,348	6,380,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	418,016	418,016
資本剰余金	655,823	689,184
利益剰余金	1,625,763	1,865,852
自己株式	△446,824	△359,945
株主資本合計	2,252,779	2,613,107
純資産合計	2,252,779	2,613,107
負債純資産合計	9,164,127	8,994,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,440,437	2,424,840
売上原価	1,100,464	1,136,613
売上総利益	1,339,973	1,288,227
販売費及び一般管理費	697,958	696,945
営業利益	642,014	591,281
営業外収益		
受取利息	116	100
固定資産売却益	19,711	4,302
不動産賃貸料	649	5,874
その他	5,966	1,493
営業外収益合計	26,445	11,771
営業外費用		
支払利息	20,242	24,271
不動産賃貸原価	—	12,728
その他	1,270	2,595
営業外費用合計	21,513	39,594
経常利益	646,946	563,458
税金等調整前四半期純利益	646,946	563,458
法人税等	310,698	276,282
四半期純利益	336,248	287,175
親会社株主に帰属する四半期純利益	336,248	287,175

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	336,248	287,175
四半期包括利益	336,248	287,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,248	287,175

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	646,946	563,458
減価償却費	181,226	206,312
のれん償却額	125,212	125,212
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△797	△719
賞与引当金の増減額 (△は減少)	635	3,991
最終処分場維持管理引当金の増減額 (△は減少)	22,069	15,003
受取利息及び受取配当金	△123	△108
支払利息	20,242	24,271
固定資産売却損益 (△は益)	△19,665	△2,093
売上債権の増減額 (△は増加)	28,167	14,259
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,848	4,387
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	107,724	28,048
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17,108	△6,903
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△70,418	△84,309
その他	4,118	15,389
小計	1,034,079	906,201
利息及び配当金の受取額	123	108
利息の支払額	△19,006	△23,386
法人税等の支払額	△295,774	△343,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	719,421	539,391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△246,701	△352,252
有形固定資産の売却による収入	25,015	6,881
無形固定資産の取得による支出	△4,950	△750
その他	△17,981	1,017
投資活動によるキャッシュ・フロー	△244,618	△345,104
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	80,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△550,960	△326,719
社債の償還による支出	△51,000	△24,000
配当金の支払額	△39,867	△47,087
その他	1,391	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△560,436	△297,806
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△85,633	△103,519
現金及び現金同等物の期首残高	1,903,901	1,801,430
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,818,268	1,697,910

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月18日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。）に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式36,000株を処分いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が86,879千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が359,945千円となっております。また、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が33,360千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が689,184千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,027,483	351,185	61,768	2,440,437	—	2,440,437
セグメント間の内部売上高又は振替高	88,684	72	82,825	171,582	△171,582	—
計	2,116,168	351,257	144,594	2,612,019	△171,582	2,440,437
セグメント利益	817,112	54,290	37,828	909,231	△267,217	642,014

(注) 1. セグメント利益の調整額△267,217千円は、セグメント間取引消去9,135千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△276,352千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,004,768	345,766	74,306	2,424,840	—	2,424,840
セグメント間の内部売上高又は振替高	89,800	72	75,018	164,890	△164,890	—
計	2,094,568	345,838	149,324	2,589,731	△164,890	2,424,840
セグメント利益	794,832	39,436	61,236	895,504	△304,223	591,281

(注) 1. セグメント利益の調整額△304,223千円は、セグメント間取引消去14,576千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△318,800千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。